

6 飼料作物

①とうもろこし

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
サイレーヅ用 とうもろこし	普通栽培				◆ ○				x-x							4,000 ~6,000
子実用 とうもろこし	普通栽培				◆ ○				x-x							600 ~1,000

凡例:○播種 △仮植 ◎定植 x-x収穫 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位:kg/10a

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
普通栽培	点播 畦幅 70~80cm 株間15~ 24cm 播種量2.5~ 3.0kg/10a	基肥	20	18	20	・炭カル 100kg/10a ・基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。
		追肥	0	0	0	
		合計	20	18	20	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

ア 堆肥を約4t/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

3 その他

ア 水田転換畑では、地下水位20cm以下になるよう排水する。

イ 子実用とうもろこしは、サイレーヅ用(青刈り)とうもろこしの肥培管理に準じる。

## ②ソルガム

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
ソルガム	普通栽培	(子実型)					◆								5,000 ~8,000
		(兼用型)					○	—	×						
		(ソルゴー型)					◆			◇					
		(スーダン型)					○	—	×					×	
		(スーダングラス)					◆			◇				×	

凡例：○播種 △仮植 ◎定植 ×—×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【土壌・施肥管理】

単位：kg/10a

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
普通栽培	条播 播種量1.5~ 2.5kg/10a 散播 全面播 播種量2.0~ 3.0kg/10a	基肥	20	18	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炭カル 100kg/10a</li> <li>・基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。</li> <li>・2回刈りは、窒素成分で2kg/10aを追肥</li> <li>・スーダン型、スーダングラスの施肥量は、25%減量</li> </ul>
		追肥	0	0	0	
		合計	20	18	20	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

ア 堆肥を約4t/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

#### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

#### 3 その他

ア 水田転換畑では、地下水位20cm以下になるよう排水する。

### ③牧草類:イタリアンライグラス

#### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
イタリアン ライグラス	普通栽培				◇					◆				5,000 ~7,000
					×-×					(短期利用)	○			
						◇	◇			◆				
						×	×	×		(長期利用)	○			

凡例:○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

#### 【施肥基準】

単位:kg/10a

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
普通栽培	散播 播種量1.5~ 3.0kg/10a	基肥	11	10	11	・炭カル 100kg/10a ・基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。 ・3回刈りとして、追肥2回
		追肥	4	0	4	
		合計	15	10	15	

#### 【土壌・施肥管理】

##### 1 土づくり

ア 堆肥を約4t/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

##### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

エ 刈取るとに、窒素、カリをそれぞれ2kgずつ追肥する。

##### 3 その他

ア 吸肥性が強いので、糞尿を多量施用した場合は土壌中に硝酸態窒素が蓄積するので、硝酸塩中毒に注意する。

## ④麦類:エン麦

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
エン麦	普通栽培 年内刈 (極早生)							(年内刈)	◆							4,000 ~6,000
							x									
								(普通栽培)	◇							

凡例: ○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【土壌・施肥管理】

単位: kg/10a

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
普通栽培	条播 播種量4.0~ 6.0kg/10a	基肥	10	10	10	・炭カル 100kg/10a ・基肥施用量は、基準値から堆肥の有効成分量を減じて施用する。
	散播 播種量6.0~ 8.0kg/10a	追肥	0	0	0	
		合計	10	10	10	

### 【施肥・土壌管理】

#### 1 土づくり

ア 堆肥を約4t/10a施用し、施用後は速やかに耕起する。

#### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ ただし、堆肥を連年施用した場合は、窒素が過剰供給となる場合があるので、土壌・飼料分析などを行い、堆肥の施用や施肥を中止するか減量する。

ウ 水田転換畑1年目の施肥量は、3要素とも20~30%減らす。

#### 3 その他

ア 水田転換畑では、地下水位20cm以下になるよう排水する。

## ⑤飼料用イネ(WCS用イネ)

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
WCS用 イネ	移植栽培					◆	◇			◇				3,000 ~3,500
	湛水直播					◆	◇			◇				
	乾田直播				◆	○	○			◇				

凡例:○播種 △仮植 ◎定植 ×-×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位:kg/10a

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
移植栽培	播種量	基肥	7	7	7	・堆肥 1t/10a ・石灰 100kg/10a
	2.5~ 3.0kg/10a	追肥	3	0	3	
		合計	10	7	10	
湛水直播	播種量	基肥	6	6	6	・堆肥 1t/10a ・石灰 100kg/10a
	3.0~ 3.5kg/10a	追肥	3	0	3	
		合計	9	6	9	
乾田直播	播種量	基肥	7	7	7	・堆肥 1t/10a ・石灰 100kg/10a
	4.0~ 5.0kg/10a	追肥	3	0	3	
		合計	10	7	10	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

ア 堆肥は完熟堆肥の利用を前提に、1t/10aを施用する。

イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。

ウ 堆肥の施用時期については、一毛田では春耕起時に、麦との二毛作体系では麦作の際に施用することが望ましい。

#### 2 施肥

ア 施肥量は、堆肥の有効成分等を考慮して施肥基準値から減じて施用する。

イ 穂肥施用時期は、出穂前20~23日を目安とする。

##### ○移植栽培

5月中旬移植の場合、移植後40日前後に窒素成分で2kgの追肥を行う。

##### ○湛水直播

5月中旬播種の場合、7葉期頃に窒素成分で2kgの追肥を行う。

##### ○乾田直播

基肥は、緩効性肥料を利用する。

普通化成肥料の場合は、基肥3、入水肥4に分けて施用する。

## ⑥飼料用米

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (kg/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
飼料用米	移植栽培				○	◆	◎	—	◇				×			700

凡例：○播種 △仮植 ◎定植 ×—×収穫 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位：kg/10a

作型	栽植様式		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
移植栽培	播種量 2.5～ 3.0kg/10a	基肥	7	7	7	・堆肥 1t/10a ・石灰 100kg/10a
		追肥	4	0	4	
		合計	11	7	11	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

堆肥を使用する場合、鶏ふんは化成肥料と同等に利用できる。

牛ふん堆肥1t/10a施用するが、当該年度の効果は小さく、土づくりと考えて使用する。

#### 2 施肥

追肥(穂肥)は、出穂前20～23日に行う。